

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第319回委員会議事録

1. 日 時 平成28年9月8日(木) 13:00~17:30
2. 場 所 大阪電気通信大学 駅前キャンパス
3. 出席者 29名(順不同・敬称略)

委員長： 川口雅之(大阪電通大)

副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)

主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研つくば)

幹事： 稲垣道夫(北海道大名誉)、安田榮一(東工大名誉)、京谷隆(東北大)、塩谷正俊(東工大)、押田京一(長野高専)、棚池修(産総研東北)

委員： 新井啓哲(東海カーボン)、岩下哲雄(産総研つくば)、清原健司(産総研関西)、今川博(SECカーボン)、小田廣和(関西大)、忠政明彦(パナソニック・エコソリューションズ)、羽鳥浩章(産総研つくば)、森田純子(東洋炭素/代：太田直人)、山根一真(戸田工業)、河合隆伸(日本カーボン)

委員外： 曾根田靖(産総研つくば)、西澤節(神戸製鋼)、白石壮志(群馬大)

同伴者他： 荒川規(SECカーボン)、石川弘通(大阪電通大)、板屋智之(長野高専)、北井綱一(大阪電通大)、初代善夫(東洋炭素)、田上暢之(戸田工業)

4. 本委員会議事経過

4-1 前回議事録の承認

- ・第318回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
(訂正) 3ページ行目：得意な→特異な
- ・A, B, C分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。
(訂正) 1ページ目8行目：官能機種→官能基種
1ページ目最後：衣元太郎→衣本

4-2 117委員会関連報告

(1) 委員長報告など

①会員の異動

交代： C分科会主査 児玉昌也様 → 吉澤徳子様 ※次回320回より

新規委員外登録： 長谷川丈二様(大阪大) ※前回発表者

退会： 大竹芳信様(明治大：委員外登録)

②平成 28 年度年間計画について

下記の通り、委員会を計画している。

- ・ 第 319 回：平成 28 年 9 月 8 日（木） @大阪電気通信大学
※翌日 9 日は同場所で日仏セミナーを開催
- ・ 第 320 回：平成 28 年 11 月 11 日（金） @東大
- ・ 第 321 回：平成 29 年 4 月 @東京地区
- ・ 第 322 回、第 323 回：次期未定、@東京地区
- ・ 第 324 回：平成 29 年 11 月 9 日（木） @大阪電気通信大学（予定）
- ・ 第 6 回日独セミナー：平成 29 年 11 月 10 日（金） @大阪電気通信大学（予定）

③設置継続審査について

- ・ 全ての産学協力委員会は 5 年ごとに継続審査をうけることになった。117 委員会は本年 8/23 に審査を受け、10 月より 5 年間の継続決定の内示を得た。正式な通知が届いたらまた紹介する。
- ・ 個々の会員においては、特に継続に際しての手続きは生じない。

④ 内規改定について

- ・ 10 月よりの次期発足に合わせて、運営内規の改定を予定している。11 月の委員会で最終案のご提示とご承認をいただく予定。
- ・ 学振より「守秘義務規定」を設けるように指導があったため、委員会の実情に合わせた守秘義務に関する一文を追記することについて意見を伺った。「委員会に無断で外部に開示してはならない」とあるが、許可を得て開示する場合などの手続きはどうか、という意見があった。次回までに検討をする。

⑤70 周年記念誌について

- ・ 117 委員会は平成30年に設立70周年を迎えるので、60周年にならって記念誌を発行する予定。今後執筆依頼などご協力をお願いします。

(2) 分科会資料（発表順）

- 117-319-B-1 JIS R7651:2007 「炭素材料の格子定数及び結晶子の大きさ測定方法」(XRD 学振法) の見直しについて
(産総研つくば) ○岩下哲雄
- 117-319-C-1 フッ化黒鉛アルカリ金属キャパシタの特性と充放電機構
(群馬大院理工) ○白石壮志、川島毅、白石晏義、(大阪ガス) 藤本宏之
- 117-319-A-1 水分散性カーボンナノ試験管内への DNA の濃縮とその放出
(東北大多元研) 干川康人、菅野康之、多和田華子、寒河江拓也、石井孝文、井本修平、萩原伸也、和田健彦、永次史、○京谷隆
- 117-318-A-2 炭素繊維のディインターカレーション挙動について
(大分大) 衛藤恭平、大内康宏、衣本太郎、津村朋樹、○豊田昌宏

4-3 その他報告事項

(1) 炭素材料学会近況報告

※ 羽鳥委員（学会運営委員長）より学会運営について以下の報告があった。

- ・ 夏季セミナーが 8 月末に長野で行われた。次世代の会を中心に、若い方が活発に活動している。

- ・スキルアップセミナーが 9/2 に行われた。10 月セミナーは 10/14 に「1 日で学ぶ炭素材料の分析方法-入門編-」というテーマで開催されるのでご紹介したい。1 月セミナーは 1/20 で、テーマは「グラフェンから始まった二次元物質の最新動向」。
- ・本年度の年会は千葉大の加納先生のお世話で 12/7-12/9 に同・けやき会館で開催される。
- ・これらの情報は基本的には学会 HP に全て掲載されているので適宜ご覧いただきたい。

※ 曾根田会員（学会編集委員長）より以下の報告があった。

- ・9/1 付で274 号が発行された。。
- ・275 号は、11/15 発行予定。特集号：「グラフェンの科学と応用」として解説記事が 5 本程度の予定。

※ 京谷幹事（学会会長）より、CARBON2020 の日本・京都での開催が決まったことに合わせて、昨日（9/7）に準備委員会で現地確認を行った旨の報告があった。近いうちに正式な組織委員会も発足する予定。皆様にはご協力をよろしく願います。

(2) 国際会議関係

・ CARBON2017 はオーストラリアのメルボルン、CARBON2018 はスペインのマドリードで開催。

(3) CARBON 誌関係

- ・特になし

(4) その他報告

- ・特になし

(以上)